

業種別業況動向調査結果(令和2年1～3月期)

令和2年6月
北海道経済部経済企画課

- 調査時期 令和2年4月
- 調査方法 道内経済・産業団体からの聞き取り及びアンケート形式による調査
- 調査団体 機械（機械工業会）、IT（IT推進協会）
食品（冷凍食品協会、菓子工業組合）、商店街（商店街振興組合連合会）
卸売市場（市場協会）、貿易（国際ビジネスセンター）
観光（全国旅行業協会北海道支部、日本ホテル協会北海道支部）
建設（建設業協会）、運輸（トラック協会）、金融（信用保証協会）
経済団体（商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会）

目次 <調査項目>

I 一般調査

1 業界の動向について（現状と今後の見通し）

- (1) 売上高、売上単価 . . . P 1
- (2) 原材料、仕入価格 . . . P 4
- (3) 収益 . . . P 6
- (4) 設備投資 . . . P 9
- (5) 雇用 . . . P 12
- (6) 資金繰り . . . P 16
- 2 業界として抱える問題点・課題について . . . P 19

II 特別調査

1 経済動向の影響・対応について

- (1) 日米貿易協定やTPP11などの海外との経済
連携協定による影響 . . . P 23
- (2) 消費税率引き上げの影響 . . . P 25

I 一般調査

1 業界の動向について

(1) 売上高、売上単価

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高は、前年同期比で「増加」と回答した企業が14.2%、「減少」が43.7%。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高は、同「増加」が9.6%、「減少」が56.9%。 <p>(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
I T	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高は、新型コロナウイルスの影響をあまり受けておらず、大きな変化はない。ただし、中国からの機器の納品が遅れており、3月末までに納品ができなくなったなどの声も聞かれた。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車関連など製造業向けの売上高は、新型コロナウイルスの影響により減少する見通し。
食 品 (冷 凍)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～3月は後半に新型コロナウイルスの影響から、特に業務用商品の売上が減少。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更に減少することが懸念される。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月後半より減少。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年比30%程度の減少と維持される店とに分かれる。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの拡大により、飲食店や娯楽施設、土産店をはじめ多くの業種で売上が激減している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの収束が見通せない中、今後も極めて厳しい状況が続くと想定される。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年比10%以上の大きなダウン。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚の高級品中心に水産全般厳しい状況。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年比全体で数量1割減、単価は横ばい。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・売上回復の見込み薄。減収。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・売上高、単価共に前年比より下降と予想。鮮魚の高級品中心に水産全般厳しい状況。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが早期に収束するしないにかかわらず、少なくとも6月位迄は道内各地に客足は戻らないと思われる。業務向けが落ち込んでいる分、量販が頑張っているが、前年比90%位の取扱いが続くと予想。

<p>観 光 (旅行業)</p>	<p>[現状] ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、かなり（特に3月が）悪化。</p> <p>[見通し] ・さらに悪化する。</p>
<p>観 光 (ホテル業)</p>	<p>[現状] ・2月中旬以降、急激に悪化。</p> <p>[見通し] ・休業により、売上はゼロに等しいか、あっても前年比10%程。</p>
<p>建 設</p>	<p>[現状] ・受注総額（BSI値）が前期比で0.5ポイントマイナスとなり、減少傾向が続いている。官公庁工事、民間工事ともに減少傾向が続いている。</p> <p>[見通し] ・受注総額は減少傾向がかなり強まる見通し。官公庁工事、民間工事ともに減少傾向が強まる見通し。</p>
<p>運 輸</p>	<p>[現状] ・輸送量は新型コロナウイルスの影響もあり、前期と比較して減少している。</p> <p>[見通し] ・新型コロナウイルスの影響により輸送需要に増減があるが、全体的には輸送量は減少の見通し。</p>
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状]</p> <p>売上高DI値</p> <p>○全産業 ・売上高は、前年同期比▲33.6で、来期は▲38.9の見通し。</p> <p>○製造業 ・売上高は、同▲47.1で、来期は▲51.9の見通し。</p> <p>○建設業 ・売上高は、同▲24.6で、来期は▲36.1の見通し。</p> <p>○卸売業 ・売上高は、同▲27.2で、来期は▲27.1の見通し。</p> <p>○小売業 ・売上高は、同▲32.9で、来期は▲41.7の見通し。</p> <p>○サービス業 ・売上高は、同▲36.4で、来期は▲37.8の見通し。</p> <p style="text-align: right;">（北海道商工会議所連合会「中小企業景況調査」）</p>
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>売上高DI値</p> <p>○製造業 ・売上（加工）額は、前年同期比▲36.2で、来期は▲38.4の見通し。</p> <p>○建設業 ・完成工事（請負工事）額は、同▲11.6で、来期は▲30.2の見通し。</p> <p>○小売業 ・売上額は、同▲45.6で、来期は▲71.5の見通し。</p> <p>○サービス業 ・売上（収入）額は、同▲44.8で、来期は▲55.1の見通し。</p>

<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>売上単価D I 値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・売上（加工）単価は、前年同期比▲8.5で、来期は17.0の見通し。 ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・客単価は、同▲22.5で、来期は▲39.5の見通し。 ○サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ・客単価は、同▲17.4で、来期は▲25.5の見通し。 <p style="text-align: right;">（北海道商工会連合会「中小企業景況調査」）</p>
<p>経済団体 中小企業 団体中央</p>	<p>[現状・見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・売上はほぼ例年並だが、新型コロナウイルスの影響もあり下降が見込まれる。（水産食料品：留萌） ○木材・木製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・単価は12月に引き続き低位横ばい傾向。新型コロナウイルスによる受注減の影響が出て売上は前年比5%減となった。（一般製材） ○紙・紙加工品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・前年比では、5%（1月）、8%（2月）、12%（3月）の売上高減少となっており、危機的な業績悪化に直面している。今後15%から18%の売上高減少が見込まれる。（加工紙） ○窯業・土石製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期比は94.9%と前年を下回り、新型コロナウイルスの影響による土木・建築工事の遅延が懸念される状況。（生コン） ○鉄鋼業・金属製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・売上高は昨年並を維持。仕事量は順調で売上は増加が見込まれる。（金属製品：室蘭） ○一般機器製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・前年比売上30～40%減の企業も数社見受けられる。更に売上減少傾向が続くとの見通しが大半である。（金属工作機械：札幌） ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・1月は年始の需要があり、ある程度の売上の増加が見込まれたことや、軽減税率もあり、他業種より影響は少なかったが、2月以降は新型コロナウイルスの影響を受け、納品業者を中心に自粛の影響が出始めた。収束の見通しが立たず、納品業は売上が激減している。一般消費者を対象とした小売は、外食産業が自粛した分、家庭での調理が活発になり、売上推移は逆に伸びているが、青果生鮮の価格帯が高騰しているため、急激な需要減に転じる可能性もある。（野菜・果実：札幌） ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの中止や来店客減少といった需要の急減により、各店舗にも売上低迷や過剰在庫等の影響が出てきたことから、売上回復、販路確保を目的に、特別セールスの販売情報をオフィシャルサイト内で掲載している。（各種商品：函館） ○サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ・現状は、20%～30%程度減少。見通しでは30%～40%程度減少。（公衆浴場） ・隔年で売上高は減少傾向にある中、新型コロナウイルスの影響で車検の延期がなされたこともあり、更なる売上高減少が予想される。（自動車整備） ○建設業 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスが景気の先行きを左右しており、海外動向や東京五輪の延期など、不確実性の高まりが懸念材料となり、消費者の購買意欲の低下により売上の減少と工事単価の値引き競争が顕著になっている。（大工工事：札幌） ・例年冬季は工事量減少期だが、今年度は一部に繁忙が見られる。新型コロナウイルスの長期化による建設需要の減退が懸念される。（左官：札幌） ○運輸業 <ul style="list-style-type: none"> ・降雪量の減少により、稼働が少ないダンプ事業者ではかなり売上高は減っている。2月以降は新型コロナウイルスの影響が多大で、バス事業者は特に稼働がまったく無く、一般貨物についても全てが自粛で流通量が減っている。（一般貨物自動車運送：小樽）

(2) 原材料、仕入価格

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕入価格は、前年同期比で「下落」と回答した企業が8.6%、「上昇」が24.4%。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕入価格は、同「下落」が14.7%、「上昇」が24.4%。 <p>(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
I T	<p>[現状・見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に変化なし。来期も同様の見通し。
食 品 (冷 凍)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原材料には大きな変動はないが、フェリー料金上昇により運送費は増加。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> 変動幅は小さい見込み。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ほぼ前年並み。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の仕入商品価格の変動がみられる。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原料・仕入れ価格とも高騰している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も同様に推移すると考えられる。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> 水産は単価安、消費縮退傾向により低価格継続。青果は仕入単価高・安の両傾向、価格が安定しない。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> 前期より原材料・仕入価格は下降。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> 商品の仕入の安定感は見込めず、乱高下の傾向は継続する。非常事態宣言後の相場の乱高下が予想される。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> 原材料、仕入価格と共に前期比下降を予想。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> 今後、輸入品を中心に搬入の不安定な商材が増え、鮮魚全般に弱含みで、相場も不安定な見込み。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状・見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> 上昇傾向。見通しについては、特に食材、仕入れがほとんど無いため、判断できない。
建 設	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> 資材の調達については、困難な傾向が続いている。資材の価格については、上昇傾向がやや弱まっている。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> 資材の調達については、困難な傾向が強まる見通し。資材の価格については、上昇傾向がやや強まる見通し。

運 輸	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料（軽油）価格は前期と比べ値下がり傾向。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料（軽油）価格は原油価格世界情勢に左右されるので不透明。
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>仕入価格D I 値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期比 40.5 で、来期は 37.0 の見通し。 ○建設業 <ul style="list-style-type: none"> ・同 46.5 で、来期は 47.6 の見通し。 ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・同 24.7 で、来期は 16.0 の見通し。 ○サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ・同 34.3 で、来期は 26.6 の見通し。 <p style="text-align: right;">（北海道商工会連合会「中小企業景況調査」）</p>
<p>経済団体 中小企業 団体中央</p>	<p>[現状・見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・原料価格は上昇傾向。（水産食料品：留萌） ○木材・木製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・原料仕入価格は横ばい。原木仕入は順調に入荷して、例年通りの在庫を確保できている。仕入価格は前年比 108%。前年比入荷量 23%減、仕入単価 9%減。各社入荷制限も聞かれるので、量的に不足感はないと思われる。今後は価格値下げの動きが出てくると予測される。一方でパルプ原料材は過少、価格高騰しており仕入れ困難な状況。（一般製材） ○紙・紙加工品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・前年 1～3 月期と比較して変化なし。4～6 月期も大きな変動はないと思われる。（加工紙） ○窯業・土石製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・需要が集中する新幹線トンネル工事が影響し、上昇傾向。（生コン） ○鉄鋼業・金属製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・価格は現状維持しているが、新型コロナウイルスの影響で作業資材の納入に遅れが生じている。（金属製品：室蘭） ○一般機器製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・流通関連で多少の遅れが聞かれる。（金属工作機械：札幌） ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・1 月までは前年末の好況に押される形となり、安定供給で推移した。2 月は緊急事態宣言を受けて一度価格は下落したものの、実需に向けた品不足感から高価格に推移した。新型コロナウイルス収束の見通しが立たなければ倒産企業も出始め、原材料、仕入れ価格も寡占化につながる可能性がある。（野菜・果実：札幌） ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・1 月末に終了した今季の道南スルメイカ漁は、函館市水産物地方卸売市場での生鮮スルメイカ取扱量が統計の残る 2005 年以降、過去最低を更新する 749 トンにとどまり、これまでの最低数量であった前年同期に比べ 89 トン（10.6%）の減少となった。反対に函館税関が今月中旬に発表した 2019 年のイカの輸入額が前年の 3.8 倍の 72 億 1600 万円となり、数量も 1 万 1167 トンと 17 年に次ぐ過去 2 番目の多さであった。（各種商品：函館） ○サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ・消費増税の影響で仕入価格は引き続き上昇傾向にある。（自動車整備） ○建設業 <ul style="list-style-type: none"> ・中国からの部品供給が途絶しており、特にドア部品等が入ってこないため、工事着工の遅れや中止が現れ始めている。（大工工事：札幌） ○運輸業 <ul style="list-style-type: none"> ・一番負担の大きい燃料代は、O P E C の減産合意で値下がりし、抑えられている。来期以降も続けば良いが、仕事が減少しては本末転倒なので悩ましい。（一般貨物自動車運送：小樽）

(3) 収益

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期比で「増加」が10.7%、「減少」が47.7%。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同「増加」が7.6%、「減少」が60.4%。 <p style="text-align: right;">(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
I T	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に変化なし。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、一部企業では減益の見通し。
食 品 (冷 凍)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に近い状況で推移。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪化する見込み。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪化しているところとさほどでない所がある。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺や人の集まる所のお店が極端に弱い。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼすべての業種で減少しているが、前年同期比1割にも満たない業種もある。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの収束が見通せない中では、極めて厳しい状況が続くと想定される。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年比で大幅減。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年比で減益、悪化傾向。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・数量、単価ともに低下しているため、利幅が小さく、粗利は前年比2割減。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・収益回復の要因が見当たらない。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・前年比で減益予想、悪化傾向。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・数量、単価ともに低下しているため、利幅が小さく、粗利は前年比2割程度減の見込み。
観 光 (旅行業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、かなり（特に3月が）悪化。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに悪化する。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪化。これまでの収益が3月で消えてしまった。

<p>観 光 (ホテル業)</p>	<p>[見通し] ・過去に経験がないほどの悪化見通し。</p>
<p>建 設</p>	<p>[現状] ・完成工事高の減少、人件費の上昇、下請代金の上昇から減少傾向がやや強まっている。 [見通し] ・完成工事高の減少傾向がかなり強まる見通しとなっていることから、収益の減少傾向が強まる見通し。</p>
<p>運 輸</p>	<p>[現状] ・既存の問題である人件費の増加等に加え、新型コロナウイルスの影響による輸送量の減少により、収益は減少傾向。 [見通し] ・新型コロナウイルスによる輸送量の減少や人件費増加に対する運賃等の収益改善が進んでいないことなどから、収益は減少の見通し。</p>
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状・見通し] <u>経常利益D I 値</u> ○全産業 ・前年同期比▲13.0で、来期は▲31.0の見通し。 ○製造業 ・同▲20.8で、来期は▲42.0の見通し。 ○建設業 ・同 11.1で、来期は▲16.6の見通し。 ○卸売業 ・同▲16.9で、来期は▲23.7の見通し。 ○小売業 ・同▲31.3で、来期は▲37.3の見通し。 ○サービス業 ・同▲7.3で、来期は▲35.4の見通し。 (北海道商工会議所連合会「中小企業景況調査」)</p>
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状・見通し] <u>経常利益D I 値</u> ○製造業 ・前年同期比▲27.7で、来期は▲37.0の見通し。 ○建設業 ・同 0.0で、来期は▲16.3の見通し。 ○小売業 ・同▲53.6で、来期は▲60.6の見通し。 ○サービス業 ・同▲41.8で、来期は▲41.2の見通し。 (北海道商工会連合会「中小企業景況調査」)</p>
<p>経済団体 中小企業 団体中央</p>	<p>[現状・見通し] ○食料品製造業 ・収益が圧迫されると予想。(水産食料品：留萌) ○木材・木製品製造業 ・販売量の減少から生産コストが上昇し、前年比5%減と悪化した。製品価格見直しで昨年より多少の改善はみられるものの、原木の仕入価格が高値安定のため厳しいことに変わらない。(一般製材)</p>

<p>経済団体 中小企業 団体中央</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○紙・紙加工品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・前年1～3月期と比較して非常に厳しい現状。更なる悪化が予想される。（加工紙） ○窯業・土石製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・一部で収益の悪化に伴う価格改定を実施した。（生コン） ○鉄鋼業・金属製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・収支は差し引きゼロ。今後は収益増加に転じる見込み。（金属製品：室蘭） ○一般機器製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・バラツキはあるものの、収益減が聞かれる。今後もこのまま収益悪化が懸念される。（金属工作機械：札幌） ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で大幅低下の見通し。（各種商品：札幌） ・3月までは大幅に売上が減少したものの、仕入れに関しても減額となったことから持ちこたえることができた企業もあった。4月以降はその後の売上減から、販管費（特に家賃）、人件費を支払うことができず、一気に収益低下する企業が出始めた。（野菜・果実：札幌） ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・本来3月は卒業旅行や新入学の準備旅行、春休み休暇などで、閑散期でも比較的繁忙の期待が高い月だが、現状では全く期待できず、各店舗の営業は厳しくなっている。次の繁忙期のGWまで新型コロナウイルスの影響が差し掛かるといよいよ店舗の営業継続そのものに支障が出てくるかと思われる。（各種商品：函館） ○建設業 <ul style="list-style-type: none"> ・政府の補正予算執行の本格化、生産の国内回帰などが好材料になると見込まれ、収益増の期待感が持てる。（大工工事：札幌） ・工事量減少期で収支について増減はないが、新型コロナウイルス感染拡大によるゼネコンの工事中断等の影響が懸念される。（左官：札幌） ○運輸業 <ul style="list-style-type: none"> ・今期は全般的に、売上状況と同様に増減すると思われる。来期は、運賃値上げ交渉が思うように行けば増加、更に、経費の減少（燃料油の下落）があれば収益増に転じると予想する。（一般貨物自動車運送：小樽）
-------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 設備投資

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「設備不足」と感じている企業は7.1%。 <p>(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
I T	<p>[現状・見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、新規投資は見受けられない。
食 品 (冷 凍)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに推移している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画を見直し縮小する予定。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ前年並みに思われる。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消極的である。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による経済状況の悪化で、設備投資に向かう事業者は極めて少ない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない中、経済の減速や先行きの不透明感により、投資に向かう事業者は極めて少ないと考えられる。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・新冷蔵庫を竣工し本稼働、旧施設解体・構内整備に着手。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・維持保守のみ。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・構内整備、駐車場を整備 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・維持保守のみ。
観 光 (旅行業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で、かなり（特に3月が）悪化。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに悪化する。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状・見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状は変わらない。見通しについては、新型コロナウイルスの影響で、すべて計画見直し。
建 設	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上の観点から、情報化施工に資するIT建設機械への更新も一部の企業であるが、大半が設備の維持管理の投資であり、コスト面から限定的な動きとなっている。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同様の状況が続く見通し。

運 輸	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益が増えない状況であり、設備投資も進んでいない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響による収益悪化で設備投資は進まない見通し。
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに設備投資を実施した企業は、全産業 18.7% (19.5%)、製造業 16.3% (20.8%)、建設業 26.5% (28.6%)、卸売業 12.3% (15.5%)、小売業 17.7% (15.7%)、サービス業 20.7% (16.7%)。(括弧内は前期) <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資を予定している企業は、全産業 16.0%、製造業 12.8%、建設業 20.9%、卸売業 12.5%、小売業 16.4%、サービス業 17.6%。 <p>(北海道商工会議所連合会「中小企業景況調査」)</p>
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>○製造業</p> <p><今期実施>回答 47 社の内、実施企業 4 社 投資内容：●生産設備＝3 社 ●工事建物、土地、付帯施設、福利厚生設＝1 社</p> <p><来期計画>回答 47 社の内、計画企業 6 社 投資内容：●生産設備＝5 社 ●土地、工場建物、付帯設備＝1 社</p> <p>○建設業</p> <p><今期実施>回答 44 社の内、実施企業 6 社 投資内容：●建設機械＝2 社 ●車両・運搬具＝3 社 ●土地、建物、付帯施設、O A 機器、福利厚生施設、その他＝1 社</p> <p><来期計画>回答 44 社の内、計画企業 6 社 投資内容：●建物機械＝3 社 ●建物＝2 社 ●土地、車両・運搬具、O A 機器、福利厚生施設＝1 社</p> <p>○小売業</p> <p><今期実施>回答 81 社の内、実施企業 1 社 投資内容：●O A 機器＝1 社</p> <p><来期計画>回答 81 社の内、計画企業 3 社 投資内容：●店舗、付帯施設＝1 社 ●車両・運搬具＝2 社</p> <p>○サービス業</p> <p><今期実施>回答 98 社の内、実施企業 4 社 投資内容：●付帯施設＝3 社 ●車両・運搬具＝1 社</p> <p><来期計画>回答 97 社の内、計画企業 10 社 投資内容：●車両・運搬具＝4 社 ●付帯施設＝3 社 ●建物＝2 社 ●その他＝1 社</p> <p>(北海道商工会連合会「中小企業景況調査」)</p>
<p>経済団体 中小企業 団体中央</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>○食料品製造業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の設備投資の予定はない。(水産食料品：留萌)

<p>経済団体 中小企業 団体中央</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○木材・木製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・老朽施設の修繕や車両機械（グラブ）の更新を行った会社がある。また、旧設備を廃棄し新設する工場もある。（一般製材） ○紙・紙加工品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・現状では設備投資は考えられない。（加工紙） ○鉄鋼業・金属製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・新規の設備投資はなかったが、溶接機関係で老朽化した機器の購入を考えている状況。（金属製品：室蘭） ○一般機器製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・現状では二の足を踏む企業が大半であり、しばらく低迷が続く。（金属工作機械：札幌） ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・団地再整備による新ビルへの投資は拡大したものの、当面設備投資計画はない。（各種商品：札幌） ・現況複数税率対応レジを昨年10月に導入した企業が多く、1～3月までで設備投資できるほどの余力のある企業は少ない。一気に景況感が下落したため、設備投資は控える企業が多い。（野菜・果実：札幌） ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・変化なし。（農業用機械器具） ○サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ・減少した。（自動車整備） ○建設業 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの終息時期と影響がまったく見通せない中、設備投資意欲は減退し先行きへの不安感は増している。業界を問わず景況感の悪化が今後も続くと思われる。（大工工事：札幌） ・車輛、OA機器の更新程度にとどまり、特別な投資計画はみられない。（左官：札幌） ○運輸業 <ul style="list-style-type: none"> ・車輛の購入は定期的に行なわれているため、各社とも急激に設備投資が増えることはないが、1台あたりの金額は材料代、環境規制、安全装置等でかなり値上がりしているのが実情。来期も今期と同様に推移すると思われる。（一般貨物自動車運送：小樽）
-------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(5) 雇用

分野	内 容
機 械	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人手不足」と感じている企業は 50.3%。 <p>[人手不足の解消に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の定年延長、女性の採用、I・Uターンの活用、外国人の採用など。 <p>[女性の採用等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の活用は 12.7%。 <p style="text-align: right;">(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
I T	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人手不足は、慢性的な状況。 <p>[人手不足の解消に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用、中途採用、外国人材採用の取組を実施。新型コロナの影響により、外国人採用者が来日できない状態となっている企業もある。 ・一部企業では、WEBの企業説明会を実施。 <p>[女性の採用等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に男女別で採用していない。
食 品 (冷 凍)	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全般的に人手不足の状態は継続している。 <p>[人手余剰の場合の雇用調整等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣先の契約変更。 <p>[人手不足の解消に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク、求人サイトを活用し中途採用の実施。 <p>[女性の採用等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な採用を実施。
食 品 (菓 子)	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若干の不足感があつた。 <p>[人手不足の解消に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣要員で補う。
商 店 街	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各事業者とも運営が極めて厳しい状況にあり、雇用の維持もままならない状況。
卸売市場	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・現人員数で充足。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・現状では適正。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・極端な過不足はない。 <p>[人手不足の解消に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・新卒の採用努力を継続する。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・正社員以外は、欠員の度に募集している。

卸売市場	<p>[女性の採用等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・業務リーダーへの昇進を進める。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・営業職含め、積極的採用と女性社員の育休の実施。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・新卒採用にて2名を採用。育休2名中1名が復職。 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・パッケージ部門パート採用募集（女性） ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に大学生のインターシップ取組の実施
観 光 (ホテル業)	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不足であったが、3月は余剰。 <p>[人手余剰の場合の雇用調整等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用調整している、企業によっては6月末まで確定している。 <p>[女性の採用等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用、登用は止まっている。
建 設	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能労働者等の確保の困難傾向が続いており、人手不足や従業員の高齢化などから、今後も困難傾向がやや強まる見通し。また、賃金の上昇傾向は弱まったものの、労働者確保の困難傾向がやや強まることから、今後は上昇傾向が強まる見通し。 <p>[人手不足の解消に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内各地で高校生等を対象とした現場見学会や出前講座、インターンシップを実施し、建設業の役割や魅力をPRしている。
運 輸	<p>[人手不足の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用が進んでおらず、ドライバーの高齢化等により、ドライバー不足が拡大している。 <p>[人手不足の解消に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生や自衛官等に対する業界説明。 ・運転免許（準中型・中型・大型、けん引）取得に対する助成事業を実施。 ・高校生対象のインターンシップの推進（助成事業） ・取引環境の改善の推進 <p>[女性の採用等の状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の業界団体と連携し、職場環境改善等を雇用促進に取り組んでいるが、雇用増加には至っていない。
経済団体 商工会議所 連合会	<p>[人手不足の状況]</p> <p>従業員の動向D I 値（「過剰」－「不足」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全産業が▲21.3、製造業が▲5.8、建設業が▲33.8、卸売業が▲25.0、小売業が▲19.4、サービス業が▲22.6と従業員の不足感がみられる。 <p style="text-align: right;">（北海道商工会議所連合会「中小企業景況調査」）</p>
経済団体 商工会 連合会	<p>[人手不足の状況]</p> <p>従業員の動向D I 値（「過剰」－「不足」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業が▲7.1、建設業が▲2.4、小売業が0.0、サービス業が▲6.1と従業員の不足感がみられる。 <p style="text-align: right;">（北海道商工会連合会「中小企業景況調査」）</p>

[人手不足の状況]

- 食料品製造業
 - ・非正規の人手不足感が強まっている。（水産食料品：留萌）
- 木材・木製品製造業
 - ・不足には変わりなく、派遣で間に合わせている。地方工場は慢性的に不足状態だが、現在は閑散期のため人員適正となっている一方、都市近郊工場では微余。（一般製材）
 - ・人手不足については現状で十分体制が組まれている。（加工紙）
- 窯業・土石製品製造業
 - ・ミキサー車の運転手が不足している。（生コン）
- 鉄鋼業・金属製品製造業
 - ・人手は現在が適正人員。（金属製品：室蘭）
- 一般機器製造業
 - ・人手不足感はあまり聞かれない。（金属工作機械：札幌）
- 卸売業
 - ・採用は難しいが人員は適正。（各種商品：札幌）
 - ・2月までは売り手市場であったが、3月以降、新型コロナウイルスの影響で雇い入れを控える企業が大多数である。一時帰休の休業手当（60/100）の人件費が販管費を圧迫している。業務が停滞しているため人手不足にはなっていない。今後の採用を控える動きが顕著である。一時帰休や在宅勤務などで実労働数が激減している。（野菜・果実：札幌）
- 小売業
 - ・新型コロナウイルスの影響により、人員整理も目立ってきている。雇用調整助成金の提出書類が煩雑であると同時に助成額も実態の救済にはほど遠い額面であり、逆に中小零細企業を苦しめている制度となっているので、改善を望む。（各種商品：函館）
 - ・採用が厳しくなっている。（農業用機械器具）
- サービス業
 - ・家族労働のため慢性的な人手不足の状態にあり、営業日を減らして時短営業するなどの対策をとっている。（公衆浴場）
 - ・新規案件を受注するための人手が質・量ともに不足している。働き方改革に伴い、正社員を補完する非正規社員の採用も増加したが、期待通りには補充できていない。2月後半から新型コロナウイルスの感染拡大によって今後、企業業績の悪化が現実視されることから、採用の様子見や採用抑制に舵を切る道内中小IT企業が増えてきている。新型コロナウイルスの終息が予測できない状況のため、現状の従業員数で当分様子見するという道内中小IT企業が多い。人手不足解消のために、子育て中の女性をテレワーク勤務で採用を進めようとした道内中小IT企業が増加しつつあったが、2月後半以降は中断している状態がほとんどである。（ソフトウェア）
 - ・正規・非正規とも若手の人手が不足している。例年、人材確保のために行政と協力して実施している高校訪問は中止となった。（自動車整備）
- 建設業
 - ・若年層を中心に人材不足が拡大しており、年齢構成上からも新卒、中途を含めた確保が必要。（大工工事：札幌）
 - ・恒常的な人手不足感はあるが、季節的には緩和している状況。（左官：左官）
- 運輸業
 - ・現状慢性的に不足しているが、ほとんどが正規社員であり、雇用延長で年齢的にフルでは働かない職員は増えていると思われる。業種的には、選択の余地はないほど不足している。（一般貨物自動車運送：小樽）

[人手余剰の場合の雇用調整等の状況]

- 鉄鋼業・金属製品製造業
 - ・余剰人員は他造船所へ出張させる対応をとっている。（金属製品：室蘭）

[人手不足の解消に向けた取組]

- 木材・木製品製造業
 - ・新卒採用（数名）を行ったところもある。（一般製材）
- 卸売業
 - ・採用面接の回数増加など柔軟に対応している。（各種商品：札幌）

<p>経済団体 中小企業 団体中央</p>	<p>○建設業 ・人手不足解消に向け、1月に道と札幌市共催の建設産業ふれあい展にて職業PRを行った。建設キャリアアップシステムが昨年4月からスタートしている。（左官：札幌）</p> <p>○運輸業 ・ホームページや口込みによる募集を行った。（一般貨物自動車運送：小樽）</p> <p>[女性の採用等の状況]</p> <p>○木材・木製品製造業 ・技術職の女性採用したところもある。（一般製材）</p> <p>○卸売業 ・女性の採用については業種によってバラつきがある。（各種商品：札幌）</p> <p>○運輸業 ・人手不足解消のために、女性（子育て中を含む）も限定的には採用している。（一般貨物自動車運送：小樽）</p>
-------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(6) 資金繰り

分野	内 容
機 械	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期比で「好転」が6.1%、「悪化」が12.2%。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同「好転」が2.5%、「悪化」が5.1%。 <p style="text-align: right;">(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
食 品 (冷 凍)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正常な資金繰り企業が多いが、一部設備投資の長期借入を実施。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に沿った対応を基本とするが見通しは厳しい。
食 品 (菓 子)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月の緊急事態宣言後、売上減少による手元資金が減少している。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部で借入金を増やす動きがある。
商 店 街	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による業績不振で、多くの業種で資金繰りが極めて厳しい状況。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の収束の見通しが立たないため、今後も資金繰りが厳しい状況が続くと考えられる。
卸売市場	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の姿勢に変化なし。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・順調。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・現在の傾向が継続する見通し。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・順調な見通し。
観 光 (旅行業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常に厳しい。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資申請をして踏ん張っているが、非常に厳しい。
観 光 (ホテル業)	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪化しているが、なんとか持ちこたえた。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かしらの対策が必要となるかもしれない。
建 設	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金繰りは、容易傾向が続いており、銀行等の貸出傾向も、容易傾向が続いているが、二次三次の下請企業等は、依然として厳しい状況にあるものとする。

建設	<p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金繰りは、容易傾向がやや弱まる見通し。銀行等の貸出傾向は、容易傾向が続く見通しだが、二次三次の下請企業等は、依然として厳しい状況にあるものと考える。
運輸	<p>[現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員からは特に問題は聞かれない。 <p>[見通し]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響による収益減少により、資金繰りの悪化が懸念される。
金融	<p>[現状]</p> <p>○保証状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の保証承諾は 29,585 件（前年比 104.0%）、336,465 百万円（前年比 106.7%）となり、金額は 7 年ぶりに増加に転じた。 ・業種別（主要業種）では、建設業 94,764 百万円（前年比 100.9%）、サービス業 56,540 百万円（前年比 108.6%）、卸売業 46,147 百万円（前年比 106.0%）、小売業 42,516 百万円（前年比 106.3%）、製造業 35,631 百万円（前年比 107.4%）となった。 <p>○代位弁済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度の代位弁済は、1,193 件（前年比 105.4%）、9,093 百万円（前年比 120.2%）となり、金額は 10 年ぶりに増加に転じた。 ・業種別（主要業種）では、建設業 2,061 百万円（前年比 132.6%）、卸売業 1,615 百万円（前年比 95.8%）、製造業 1,490 百万円（前年比 124.4%）、小売業 1,075 百万円（92.3%）、サービス業 1,190 百万円（前年比 111.6%）となった。
<p>経済団体 商工会議所 連合会</p>	<p>[現状]</p> <p>資金繰り D I 値（「好転」－「悪化」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全産業が▲17.3（▲11.3）、製造業が▲20.0（▲15.1）、建設業が▲4.2（0.0）、卸売業が▲17.3（▲15.5）、小売業が▲23.9（▲13.0）、サービス業が▲21.0（▲12.5）となっている。（括弧内は前期） <p>[見通し]</p> <p>資金繰り D I 値（「好転」－「悪化」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全産業が▲22.1、製造業が▲28.6、建設業が▲9.7、卸売業が▲25.9、小売業が▲25.4、サービス業が▲21.0 となっている。 <p style="text-align: right;">（北海道商工会議所連合会「中小企業景況調査」）</p>
<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>[現状]</p> <p>資金繰り D I 値（「好転」－「悪化」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業が▲10.8、建設業が 9.1、小売業が▲37.0、サービス業が▲25.8 となっている。 <p>[見通し]</p> <p>資金繰り D I 値（「好転」－「悪化」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造業が▲21.2、建設業が▲11.6、小売業が▲39.5、サービス業が▲35.0 となっている。 <p style="text-align: right;">（北海道商工会連合会「中小企業景況調査」）</p>
<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<p>[現状・見通し]</p> <p>○木材・木製品製造業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状では問題ないものの、売上動向により借入の可否を検討している状況。今後の状況次第では借入枠が無くなると予想している。（一般製材） <p>○紙・紙加工品製造業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状では対応できているが、一段と厳しくなると考えられる。（加工紙）

<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一般機器製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・現状では、主力の金融機関に相談して手当てしており、更に追加の手当も考慮している。 (金属工作機械：札幌) ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・3月以降、相当に悪い状況。4月以降は3月までの売上減の影響で、収入が相当減じると思われる。 (野菜・果実：札幌) ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・融資案件の情報は多く届いているが、低利とはいえ返済を要することから、なかなか積極的な利用にはつながっていない。融資制度とセットでもいいので、震災後のふっこう割のような集客対策を講じてもらい、仮に融資を受けたとしても返済する原資を生み出せるような売上促進への支援を願いたい。 (各種商品：函館) ・変化なし。 (農業用機械器具) ○サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ・固定経費がかかるため多少悪化した。今後さらに悪化することが懸念される。 (公衆浴場) ・道内の中小IT企業は堅調な業況の伸びに支えられ、資金繰りが必要な場合は、メインの金融機関から低利融資を受けられる状況となっていた。新型コロナウイルス感染拡大が道内中小IT企業の業績にどの程度の影響を及ぼすかの予測がつかず、脆弱な経営体質の道内中小IT企業も多いことから、運転資金に困窮する企業の増加が懸念される。 (ソフトウェア) ・変化はない。 (自動車整備) ○建設業 <ul style="list-style-type: none"> ・現在は資金繰りが悪化しているとは聞いていない。建築工事は、極端な落ち込みは見られないが、今後予想される設備投資需要の後退に備えていかなければならない。 (大工工事：札幌) ・現状では大きな変化はないが、新型コロナウイルスの長期化により資金繰り悪化が懸念される。 (左官：札幌) ○運輸業 <ul style="list-style-type: none"> ・今期の状況は、売上減に加えて働き方改革による労働時間短縮、有給取得、賃金上昇等で出費が増えたことから、厳しいと思われるが、新型コロナウイルスの影響で貨物輸送が減り燃料価格も値下がり状態であることが奏功した。 (一般貨物自動車運送：小樽)
--------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 業界として抱える問題点・課題について

分野	内 容
機 械	<ul style="list-style-type: none"> ・当会の景況調査において経営上の問題点として人手不足が50.3%で最も多く、ついで売上不振が47.2%、諸経費の増26.4%、人件費増加24.4%の順となった。 ・原油・原材料価格の変動と収益の影響として輸送コストが36.5%、燃料費が26.4%、原材料が25.9%、資材費が25.9%となっている <p style="text-align: right;">(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
I T	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員の確保とともに、AI・IoT等新たな技術分野の技術習得など人材の育成。
食 品 (冷 凍)	<ul style="list-style-type: none"> ・売り上げ、生産量、運賃などに於ける新型コロナウイルスの影響が気になり。 ・衛生面の徹底を更に心がける。
食 品 (菓 子)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策をどのように押し量ったら良いか課題。
商 店 街	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の外出自粛要請等により、来街者が激減しており、各店舗とも経営状況が極めて悪化。このまま推移すれば商店街組合会員の退店、閉店等が相次ぎ、商店街という商業設備の維持、商店街振興組合という組織の存続自体が危ぶまれる状況。
卸売市場	<ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響の長期化によるインパクトは大きく、外出自粛により、ホテルや外食等納品業者に影響がある。直近では輸入品や、水産・農産・果実の入荷不足や値上がりといった影響を予想。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる社会不安と食品流通量減少による業界への影響が危惧される。量販店のセール自粛、飲食業、観光地の休業に伴い売上が減少。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・仕入れから販売までを同じ担当者が行うため、必然的に労働時間が長くなる。仕入れ先と販売先のコアタイムが乖離しているため、1日のうちでも断続的な業務となってしまう。
観 光 (ホテル業)	<ul style="list-style-type: none"> ・当ホテル協会は、売上の半分は宿泊業、半分は飲食業。新型コロナウイルスの影響で先が見通せず厳しい。
建 設	<ul style="list-style-type: none"> ・経営上の問題点は、①人手不足、②従業員の高齢化、③受注の減少、が上位三項目となっており、「人手不足」については、15期連続で経営上の問題点の1位。同じく「従業員の高齢化」は13期連続で2位となっている。
運 輸	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の物流は「広域・長距離輸送」及び「札幌圏集中による片荷輸送」や「一次産品等の季節波動」が顕著であり、加えて運転者不足や高齢化、働き方改革への対応等により「運びたくても運べない」という状況となっており、人材確保や労働規制への対応等の経営課題が山積している。 <p>人材確保や労働環境改善を進めるためには、適正な運賃・料金の収受が不可欠であり、そのためには運送委託者（荷主）の理解と協力が必要であるが、他業種も同様の課題を抱えており、改善がなかなか進まない状況であり、対応に苦慮している状況が続いている。</p>
経済団体 商工会議所 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・「需要の停滞」が大きな要因となっている。また、製造業では「製品ニーズの変化への対応」、建設業・卸売業では「従業員の確保難」、小売業では「販売単価の低下・上昇難」、サービス業では「利用者ニーズの変化への対応」などの問題点が浮上した。

<p>経済団体 （商工会 連合会）</p>	<p>○製造業 1位：需要の停滞 2位：原材料価格の上昇 3位：製品ニーズの変化 4位：従業員の確保難 5位：生産設備の不足・老朽化</p> <p>○建設業 1位：官公需要の停滞 2位：従業員の確保難 3位：民間需要の停滞 3位：熟練技術者の確保難 5位：下請け業者の確保難</p> <p>○小売業 1位：需要の停滞 2位：購買力の他地域への流出 3位：大型店・中型店の進出による競争の激化 4位：消費者ニーズの変化</p> <p>○サービス業 1位：需要の停滞 2位：利用者ニーズの変化 3位：材料等の仕入単価の上昇 4位：店舗施設の狭隘・老朽化 5位：利用料金の低下、上昇難</p> <p style="text-align: right;">（北海道商工会連合会「中小企業景況調査」）</p>
<p>貿 易</p>	<p>・貿易相談件数は15件で、前年同期と比べ7件減少。中国関係の相談が多く、最も多い相談は「ビジネスルール・貿易実務」関連。</p> <p>・次の点が、中国への輸出拡大におけるボトルネック</p> <p>①中国側輸入規制 そもそも輸出可能な食品が限られていることが最大の問題。 また、原発事故以降の放射能規制が農産加工食品・乳製品の輸出障害となっている。</p> <p>②必要手続・書類の煩雑さ 水産物は原則すべて輸出可能であり、必要な試験の一部が免除されたものの手続きが煩雑。</p> <p>③ロット・輸送方法 量的にまとまらないとビジネスにならない。 リーファーコンテナ使用を前提とすると、一定量の確保が前提となる。 なお、コロナ禍の物流について、既に中国で物流ルートが確立されている食品輸出等の影響は限定的。</p>
<p>経済団体 （中小企業 団体中央会）</p>	<p>○食料品製造業 ・アメリカでの新型コロナウイルス感染拡大で、今シーズンの北米鯧漁が中止となり、原料確保が困難になった。世界大恐慌以来の景気低迷が予測される中、年末商材の販売が不安視される。（水産食料品：留萌）</p> <p>○木材・木製品製造業 ・現場スタッフだけではなく、営業、生産管理者、将来の経営者候補など広範な人材が不足している。生産設備の老朽化が著しい上、ハードワークであることから若い人材が集まらない工場が多く、一方で設備投資を先送りすることにより低下する生産性の問題よりも、減価償却がないことの方が価格面で競争力があると考えている経営者が多いものと思われる。このままでは地域の小規模工場から無くなっていくのではないかと危惧している。新型コロナウイルスによる、国内経済の減速、建築工事の停滞、輸出減による産業資材の低迷、仕入建材の不足・遅延、価格高騰が懸念事項である。バイオマス発電等の原材料需要増による、畜産敷料用パルプ原料材の不足、価格高騰。運送業者不足（人手、総輸送量）。地方工場の人手不足（人員数、技術力）。働き方改革（休日増加）による、生産性低下・人件費高騰。輸入原木・製材の入荷不安定・価格変動による、価格競争激化。製材生産設備の老朽化・更新困難による、生産性低下。新型コロナウイルスの影響で材の流れが悪くなりつつある。この状態が続けば材の流れが完全にストップしてしまうことも考えられる。その結果、造材も出来なくなる。（一般製材）</p> <p>○窯業・土石製品製造業 ・生コンは90分以内の配達が要求されることから、生コン工場は地域になくてはならない存在だが、一方で生コン工場を維持するためには一定の生コン需要があることが前提となるが、地方における官公需の減少は生コン工場の安定操業を脅かすものとなっており、地方における需要拡大の取組としてコンクリート舗装の普及拡大が課題。令和2年度の道内生コン需要想定はピーク時（平成元年度）の3分の1。生コン需要の内訳は、官公需が40%、民需が60%で民需が主導する形になっている。民需の43%が札幌に集中し、再開発やホテル、マンションが牽引している。近年は建設現場における人手不足が工程の遅れを招き、生コン需要が想定を下回る状況が続いている。建設現場における人手不足解消、効率化が進まなければ根本的な課題解決にはならない。（生コン）</p>

○鉄鋼業・金属製品製造業

- ・造船業界は、働き方改革の一環で導入された労働時間規制により、現有人員では仕事量に対応できなくなっているのが現状。また、労働時間短縮で賃金が減少している。
(金属製品：室蘭)

○一般機器製造業

- ・新型コロナウイルスの影響が大きく、飲食料関連業（スーパー等に卸している企業を除く）やチラシ印刷業などは非常に厳しい状況が続いている。建設業においても大手ゼネコン等が工事休止しているところもあり、中小・零細企業にも影響がでてきている。
(金属工作機械：札幌)

○卸売業

- ・他国と比較すると日本政府は新型コロナウイルスに対する施策に失敗したと言わざるを得ない。無責任な自粛要請は、小売・観光・飲食の首を絞めている。今のところ卸売業界には大きな影響が出ていないが、消費の最先端が痛んだまま推移すれば卸売にも甚大な影響が出るのは間違いない。収束が見えない中で資金調達を行っても返済計画を立てられない。収束が長引けば多くの借入が不良債権化すると思われる。最終的には金融不安につながるの国として処理方法を検討しておく必要がある。業界としては当面の資金繰りを優先して、物流・雇用・経営の維持を図っていく。(各種商品：札幌)
- ・まずは新型コロナウイルスの収束見通しが立ってこれないと業界として改善の兆しすら見えない。資金繰りも困難を極め、遅くとも5月いっぱい位で収束見通しを立ててこれないと倒産する企業が出てきそうである。持続化補助金も財源が決まっている以上決定打にはなりにくいと思われる。(野菜・果実：札幌)

○小売業

- ・新型コロナウイルス終息後の抜本的な経済対策は勿論ですが、現在の経済が止まった状況のままですと、終息まで持たない店舗も出てくると思いますので、終息を待たずとも店舗救済していただける施策をお願いしたいところである。(各種商品：函館)
- ・新型コロナウイルスの拡大が懸念される中、国は緊急事態宣言を発出したが、当業界にあっても正に重大な局面を迎えている。一般消費者・法人客等が不要不急の外出を控えたことで、燃料油販売が極端に減少し、特に暖冬による灯油や軽油の需要減に加え、今般の自粛による燃料油販売の大幅減やカーケア需要の減少は中小企業が大半を占める石油販売業界にとっては極めて厳しい経営環境が続いている。また、ここ数か月、原油価格が乱高下しており、仕切り価格の問題等については予断を許さない状況。いずれにしても、消費者の節約基調等も一層顕著となっており、マージン率の低下は正に死活問題。特に地方にあつては、長期化する景気低迷が払拭されない限り需要不振等を背景とする健全なる経営の安定は望めない。(燃料)

○サービス業

- ・新型コロナウイルスの感染症の蔓延している中、公衆浴場は休止の要請は行わない施設とされているが入浴客の減少がみられ今後もこのような状況が継続すると、営業時間の短縮等で固定経費の支払いが厳しくなると思われる。固定経費の削減等を図りながらもできる限り営業は継続したいが、厳しい経営を強いられる。(公衆浴場)
- ・2月前半までは、働き方改革推進に必要な不可欠な生産性向上のために、AI、IoTを事業構造の中に組み込むためのシステム開発を、道内の中小IT企業が受託開発するとの構図で、次年度以降も堅調に伸びると予測されていた。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大によって様相が一変し、4月以降の業績予測ができない状況となってきた。オリンピックの1年延期、全国レベルでの非常事態宣言、各種イベントの中止や延期、不要不急の外出自粛等が企業活動を収縮させて企業業績が軒並み悪化予測となっている。IT業界は他業界に比べるとまだ「比較的元気」だが、いずれ間違いなく収益悪化が顕在化すると思われる。今までは人手不足を深刻な問題として捉えていたが、経営基盤の脆弱な道内の中小IT企業は、今後の業績予測を立てられない現状では、1. 新卒、中途採用活動の中断や延期、そして、現従業員数のままで人件費上昇を抑えてしばらく様子見する中小IT企業の増加。2. 業績不安から当分、新規設備投資の凍結。3. 運転資金の枯渇が懸念されるため民間金融機関の融資や政府の補助・助成金の検討。以上を当分の間、事業経営を進める上でのポイントとする中小IT企業が多い。(ソフトウェア)

<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料電池自動車の様な次世代自動車などに代表される整備技術の高度化に向けた対応が求められており、若年労働者の人材確保が難しくなっている。新型コロナウイルスにより、観光衰退の影響を直に受けている貸切バス会社の自社工場では、貸切バスの運行中止等により、車検取得延期及び定期点検延期等の結果、整備売上が減少している。また、タクシー会社の自社工場においても、旅客の減少で休車などにより、整備売上が減少している。（自動車整備） <p>○建設業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年技能労働者の確保・育成と熟練技能の継承が課題。解決のためには、他産業並みの賃金水準や週休2日制、社会保険、福利厚生の実現に加え、適正な工期や受注価格の実現、建設キャリアアップシステムの普及促進が必要。左官仕上げ工法による建設工事量が漸減傾向にあることから、環境に優れ健康に優しい左官工法の理解促進と公共工事における左官仕上げ工法の採用促進に取り組む必要がある。（左官：札幌） <p>○運輸業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働時間の問題では、運送業での一番の経費である人件費、燃料代この2つが安定しないため、厳しい選択になる。これは、燃料代という一番の経費が安定しないため、中々人件費を上げる訳にはいかないのが現状だと思う。（一般貨物自動車運送：小樽）
--------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

II 特別調査

1 経済動向の影響・対応について

(1) 日米貿易協定やTPP11などの海外との経済連携協定による影響

分野	内 容
機 械	<p>[影響を受ける業種や業態]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金属製品、生産用機械、輸送用機械など。 <p>[影響の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上高 6.1%、仕入価格 14.7%、収益 4.1%。 <p style="text-align: right;">(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
商 店 街	<p>[影響を受ける業種や業態]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 影響があると思料されるが、業種が多岐にわたることから不明。
卸売市場	<p>[影響を受ける業種や業態]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状ではあまりない。 ○ 水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業、畜産業等。 <p>[影響の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農畜産業生産物の価格下落による減収。 <p>[影響がある場合の業界団体や会員企業が行っている主な対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国産ブランド確立による内販強化。 <p>[その他の問題点・課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 政府の支援策の強化が必要。 ○ 青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産品輸出入の動向は注視しておく必要がある。
旅行業 (ホテル業)	<p>[影響を受ける業種や業態]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農水産物生産者、飲食業者。 <p>[影響の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点で、新型コロナウイルスにより影響内容が変わっている。
運 輸	<p>[影響を受ける業種や業態]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物等輸送事業者。 <p>[影響の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸入農作物が増加した場合、道内の農産物輸送等に影響が出る可能性がある。 <p>[影響がある場合の業界団体や会員企業が行っている主な対策]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運送事業者が対策できることは極めて少なく、行政機関等への支援策の要請などが主たる活動となる。
経済団体 中小企業 団体中央会	<p>[影響を受ける業種や業態]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 木材・木製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出関連産業資材、建築用製材、酪農畜産関連。(一般製材) ○ 卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器・医薬品の業界および農業資材関係の業界。(各種商品：札幌)

<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<p>【影響の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・関税撤廃でカナダからの原料輸入に影響が生じる。（水産食料品：留萌） ○木材・木製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・輸出増加から産業資材需要増による、原料不足・価格高騰。輸入製材の価格低下、輸入量増による道産材との競争激化。道内農家の景気によって、畜舎建設や敷料販売等の減少。（一般製材） ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・安全基準の変更等（各種商品：札幌） ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・農産物への影響（農業用機械器具） ○サービス業 <ul style="list-style-type: none"> ・農家に影響が生じた場合、農業用車両の需要減少。（自動車整備） <p>【影響がある場合の業界団体や会員企業が行っている主な対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木材・木製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・生産及び流通、間接コストの低減。世界経済が不安定で懸念事項も多い事から、為替影響は見通せない状況。金融機関とも相談し、リスク回避を検討している事業体もある。（一般製材） ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・当面は海外の状況把握。（各種商品：札幌）
--------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 消費税率引き上げの影響

分野	内 容
機 械	<p>[影響の度合い]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 影響大 4.6%、影響多少あり 32.5%、影響あまりない 61.4%。 <p>(北海道機械工業会「企業経営環境調査」)</p>
食 品 (菓 子)	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費の縮小。 <p>[国・道への要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費刺激策、還元策の延長。
商 店 街	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税率引き上げによる経済への影響が収まらない中で、それ以上に影響の大きい新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きい。 <p>[国・道への要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費税率引き上げに係る対策事業の期間が、オリンピックによる経済効果を勘案し、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の実施直前の本年 6 月末までとされていたが、新型コロナウイルス感染拡大のため同大会が翌年に延期されており、感染拡大による影響も踏まえ、「キャッシュレス・消費者還元事業」などの対策事業の期間延長を望む。
卸売市場	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○総合市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 極端な冷え込みは発生していないが、消費者の節約志向の高まりが影響している。 ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費者の買い控えによる消費の低迷、高単価商品の売上が減少。 ○青果市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 備品、物品その他サービス等、便乗値上げした取引先もあり、経費は増加している。 <p>[国・道への要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水産市場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食料品の軽減税率の実施を継続。
観 光 (旅行業)	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな影響は無いが、多少節約志向はある。
観 光 (ホテル業)	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外食控えで飲食店客数、売上が減少。
建 設	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駆け込み需要が想定よりも少なかったことから反動も少ないが、税率引き上げにより、資材購入等の価格に影響が生じるため、利益確保のため経費節減などの対策が必要。
運 輸	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費増税分に係る燃料コストの上昇。 <p>[国・道への要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業用貨物自動車が使用する燃料への負担軽減措置。
経済団体 (商工会 連合会)	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消費増税による買い控えの影響が 10 月以後の売上に影響し、15%の売上減となった。 ・ 昨期より経費削減は出来ているが、それ以上に消費増税に伴う売上減少が厳しい。ますます市場が縮小しているのではないかと思う。

<p>経済団体 商工会 連合会</p>	<p>・客数が若干落ち、3月以降の回復に期待している。材料費は消費増税分が上昇している。 (北海道商工会連合会「中小企業景況調査」)</p>
<p>経済団体 中小企業 団体中央会</p>	<p>[影響がある場合の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木材・木製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費の落ち込みによる、建築等投資の減少。(一般製材) ○鉄鋼業・金属製品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・仕入れコストの増加。(金属製品：室蘭) ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費財の売上減少。(各種商品：札幌) ○運輸業 <ul style="list-style-type: none"> ・経費増(一般貨物自動車運送：小樽) <p>[国・道への要望]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料品製造業 <ul style="list-style-type: none"> ・現下の情勢を鑑み、消費税を期限付き撤廃するのはどうか。(水産食料品：留萌) ○卸売業 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスでは、政府の方針により経済活動全般にブレーキをかけたのであるから、これまでの経済理論や施策の修正だけでは解決できない。プライマリーバランスを考えられる状況ではなく消費税の減税も検討すべき。 ・消費税減税が望ましいが、我々の業界は複数税率対応の設備投資をしてしまったので、今後減税になったとしてもさらに経費が掛かる。まずは、すべてにおいて消費税率8%据え置きにしてくれるとまだ望みはありそうだ。(野菜・果実：札幌) ○小売業 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で減税案などの声も耳にするが、同時に抜本的な経済対策もセットで考えていただかないと、ただの付け焼き刃にすぎないので、終息後でいいので大幅な経済活性化策を講じていただきたい。(各種商品：函館) ○運輸業 <ul style="list-style-type: none"> ・運送事業者に対して税負担が多すぎる。また、自動車絡みの税金の一般財源化をやめて道路特定財源に戻す。軽油税等の旧暫定税率(当分の間税率)廃止。百歩譲って燃料の消費税の軽減税率適用。高速道路料金の朝・夕割引すべての距離に適用。